

R I D 2640
2003-2004 年度短期青少年交換派遣学生の募集案内

地区青少年交換委員会

<目的>

この事業は、毎年夏、3週間から1ヶ月、海外のロータリークラブと学生の交換をし、家族の1員として生活することにより、学生がその国を学び（異文化体験）、理解し（国際理解）、友情を培い（国際親善）、ロータリーの目標である世界の平和に貢献できる人材を育成するために設けられたものです。日本と世界の国々との間に、友好の掛け橋を築いてくださる青少年とそこご家族を募集します。

<応募資格>

1. 15歳から22歳までの学生で、原則としてロータリーアンの子弟または、ロータリーアンと関係の有る学生とする。
2. 適応性（外交的で、度胸があり、環境の変化に順応する意思があること）
3. 優れた親善使節となる素質があること
4. 地域社会の活動への参加
5. 自分を表現できる能力
6. 親の完全かつ無条件の支援と 家族と家族の付き合いができる家庭であること
7. スポンサークラブの推薦と支援

<募集人数>

約7名 但し、定員を超えた場合、先着順とする。

<交換期間及び交換相手国>

アメリカ、オランダ、その他

交換期間は3週間—1ヶ月、海外の事情により変更される場合があります。

<交換内容>

「アメリカ」	3名
「オランダ」	2名
「カナダ」	1名
「ブラジル」	1名

相手国によっては 先に相手国より学生が来日する場合と先に派遣学生が出国する場合があります。交換時期は 2003年6月中ごろより8月中ごろまでにプログラムが終了する予定ですが 相手国によっては変更があります。予定については 地区青少年交換委員会にご一任ください。

<費用>

往復の旅費及び付属する費用。（滞在費は相互負担。）

オリエンテーションにかかる費用。

滞在中に必要とする個人的費用

バッジの購入、名刺作成の費用

なお、受入クラブに補助金として、1名につき3万円、地区委員会より支給いたします。

<交換学生の義務>

1. 渡航前—出発までに保護者同伴でオリエンテーションを受けること。
2. 留学中—できるだけ多くの人達と交流を行い、その国の人情、風俗、習慣、文化、歴史、社会等についての見解と理解を深め、あわせて日本を紹介し、ロータリーの主唱する国際理解と国際親善を促進するように努めること。
3. 帰国後—これから留学する後輩たちに、先輩として適切な助言を与えたり、Rotex（交換学生の同窓会組織）の一員としてロータリー活動のお手伝いをする事。

【詳細についての問い合わせ先】

R I 第2640地区カバナー事務所 青少年交換委員会

TEL : 0725-23-7264